

オレが書かなきゃ誰が書く!

人と人をつなぐニユースサイ

ケンオー・ドットコム

「地域の情報を拾い上げて共有し、そこに住む人と人をつなぎ、地域の包摂性(ほうせつせい)の向上に貢献する」ことを掲げるニユースサイト(ケンオー・ドットコム)。「このサイトを読めば、県央地域の情報が手に取るようにわかる」と評されるだけあり、独自の目線で丁寧な拾い上げた地域情報を日々更新しています。今回は(ケンオー・ドットコム)代表の佐藤雅人さんにお話を伺いました。

ケンオー・ドットコム合同会社
代表 佐藤雅人さん
地元「カル紙」の記者として14年間勤務。そのころ培ったノウハウを活かし、独自の視線で取り上げた記事を日々更新。趣味はバンド活動。
撮影協力: スーパージェンガワ

新潟県部門賞
ケンオー・ドットコム



「新潟県部門賞」は、2015年に新設された「カル紙」の部門賞。



多くの報道陣が詰めかけた表彰式。受賞者として、会場を見学しに行きました。



さまざまなジャンルの地域情報を365日発信している、〈ケンオー・ドットコム〉。



ニュース

地ネタ

ショップ

映画

イベント

災害

豊富な地域ネットワークで他を寄せつけない存在に

県央地域で抜群の知名度と人気を誇るニユースサイト(ケンオー・ドットコム)。ほのほとする身近な地元ネタやイベントはもちろん、火災や災害、事故などの社会派ニユースまで、地域に密着した情報を毎日発信し続けています。その情報量の多さは目を覚ますほどで、「興味のある記事を読んでみるうちに、他の記事も気になり、時間が経つのも忘れて読みふけてしまった」という人も多くはないでしょうか。この膨大な情報量のサイトをたった2人で運営

し、取材撮影、原稿作成、アップロードまで行っているのが(ケンオー・ドットコム)合同会社代表の佐藤雅人さんです。

豊富な情報量と速報性に定評アリ

「サイトを立ち上げたのは2000年です。元々自分が始めたわけではなくて、知り合いに手伝ってくれと頼まれたのが始まりでした。ホームページを作るのはもちろん、更新作業など裏方の仕事も全部行っていました」当初は「モード中心のお店紹介サイト」として月20本程度の記事を掲載していたそうですが、やがて県央地域のニユースを発信する情報サイトに姿を変え、今では月に150〜200本の記事を掲載、「昼休みにになるとまわりのデスクの人が皆ケン

「自分の都合だけで記事を書かないこと、これはとても大切にしています。たとえばこちらが何を話そう、

が、都合のいいように切り取られてしまうことであるじゃないですか。だから文章のまとまりが悪くなっても、できるだけその人の言葉で書こうと思っています」と話します。

「ケンオー・ドットコム」の特筆すべき点といえば、事件、事故が起きた際の速報性。「パトカーや消防車のサイレンが鳴ったら、まずケンオー・ドットコムをチェックする」なんていう人もいます。更新速度の速さに驚かされることもしばしばです。

「仕事柄顔が広いので、何かあったらいろいろなところから『今ここにパトカーがいるんだけど、何?』って連絡が来たりするんです。とりあえずオレに聞いたらわかると思うんですけど、うね(笑)。それで直接警察に問合せ、報道発表より速く記事にしたこともありますよ」と佐藤さんはいたずらっぽく笑います。

「向こうの人たちにしてみれば、『えっ、それを書くの?』と思うような情報を日々発信し続ける佐藤さんですが、「取材に行つて自分しか聞けないことが聞けたり、自分が気付かなかつたら見過ごされてしまうような情報を見つけた」ということがモチベーションになっていると話します。

人と人をつなぐための共有ツールを目指す



▲2017年12月15日掲載の「燕市民交流センターに初めての手作りXmasツリー」。地域に密着したニュースは会話のきっかけにも。

なことだったんです。でもこれオレが書かなきゃ誰も記事にしないだろうなあ、よし、オレが書かなきゃ誰が書く! ってねと笑います。

自分が書いた記事を誰かが話題にする、そうして会話が広がり、人と人をつなげることがケンオー・ドットコムへの更新を続ける理由だと話します。

「コミュニケーションの基本は、情報だと思っんです。たとえば同じ情報を共有していれば会話が成立するじゃないですか。そういう話題のネタを提供するサイト、人と人をつなぐコミュニケーションツールになればいいなあと思っています」と微笑みます。人々が楽しく語り合える情報を提供することに、「ケンオー・ドットコム」の存在意義があるといいます。取材依頼があれば縦横無尽に県央地区を駆け回り、忙しい日々を過ごす佐藤さん。今後の活躍がますます楽しみです。

反響の大きかった記事3選

2000年9月より、地域の祭りやイベントの他、災害、事故など多岐に渡るジャンルの記事を通算2万本以上掲載。これらをすべてサイト上に保存し閲覧できるニユースサイトというのは、なかなかありません。今までに掲載された中で、反響が大きかった記事をご紹介します。過去の記事はコンテンツの「ニューススタンプ」より閲覧できます。



13日明け方に10日を上回る豪雨で三条市内は各地で道路寸断 (2004.7.13)

水害が発生した日の早朝から深夜まで、被災状況や避難場所を更新。全国からアクセスが集中し、一時はサーバーがダウンするほどでした。



【悲報】「サンドパン」の早通屋が突然の廃業、三条っ子に衝撃 (2016.7.5)

「サンドパン」で知られるパン店が廃業。三条市の学校給食として親しまれていたこともあり、三条の人々の高い関心を集めました。



燕三条JCが「燕三条ナンバー」導入を目指す (2017.9.11)

三条市と燕市を対象地域とした「ご当地ナンバー」の導入を目指す取り組みを紹介。その後SNSでも活発な議論が続いています。